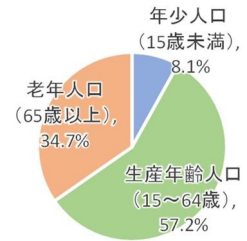


	世帯数	人 口	年 齢 別 人 口
現 在	112 世帯	297 人	15 歳未満 (年少人口) 24 人
			15～64 歳 (生産年齢人口) 170 人
			65 歳以上 (老年人口) 103 人
約 50 年前	68 世帯	307 人	



歴史等

地名の由来は明らかではありませんが、「眺め」の良い土地にちなむとも言われています。長目には弥生時代から人が暮らしていたことが知られています。弥生時代の集落の遺跡である南田原長目遺跡は、岡山などの他地域との交流を伝える遺物が見つかり、地域の中心的な集落であったこと、また、市川がつくる段丘上に位置し、周りに溝を巡らせていたことから、地域間の争いがあったことがうかがえます。

中世は播磨国神東郡田原荘に含まれ、「生目」と記されていました。近世は豊臣氏の領地となった後、慶長5年(1600)からは姫路藩領となり、大庄屋組では、はじめは八反田組、寛延3年(1750)からは辻川組に属しました。明治9年(1876)に南田原村の一部となりました。

柳田國男は、長目の寺に久米仙人がいたという伝説にちなんで、『郷土研究』に「久米長目」という匿名で文章を載せていました(『故郷七十年』『匿名のこと』より)。



石造五如来坐像



藤田神社



曾我五郎丸図 (藤田神社)



秋祭り・屋台



不動明王坐像 (旧勅使寺)



力士墓碑、義太夫師匠墓碑

※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和4年5月末時点、10年間の人口・世帯数の推移は各年5月末時点、約50年前の人口・世帯数は昭和52年6月末時点であり、いずれも住民基本台帳による値です。なお、年齢別人口のみ外国人を含む値になっています。

歴史文化遺産一覧

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり					
				①	②	③	④	⑤	⑥
建造物 石造物	1 石造五如来坐像	江戸時代前期 寛永年間 ～貞享年間 (1624～1688)	5体の石仏。台座の正面に造立年月日、背面には村名と施主が記されている。向かって左から阿闍如来、阿弥陀如来、大日如来、薬師如来、釈迦如来。 【町指定有形文化財】				●		
	2 阿弥陀如来立像(薬師寺)	寛永21年 (1644)	阿弥陀如来の石仏。台座の左に造立年が記されている。				●		
	3 阿弥陀如来立像(薬師寺)	不明	阿弥陀如来の石仏。右に「勧請御立村 教潤 田原庄 長目村」と記されている。				●		
	4 地藏菩薩立像(薬師寺)	寛文2年 (1662)	地藏菩薩の石仏。像の高さは約77cm。正面に像と「教音 寛文二壬寅年二月十日 教清」の文字が記されている。				●		
	5 地藏菩薩立像(薬師寺)	宝永7年 (1710)	地藏菩薩の石仏。正面に梵字、像と「宝永七庚寅天長目村中 八月廿四日願主九郎左衛門」の文字が記されている。令和4年に長目東墓地入口から現在地に移設。				●		
	6 六地藏(長目東墓地)	不明	六体の地藏菩薩の石仏。				●		
	7 六地藏(長目西墓地)	不明	六体の地藏菩薩の石仏。				●		
	8 六地藏(薬師寺墓地)	不明	六体の地藏菩薩の石仏。				●		
	9 三界万霊塔(薬師寺)	貞享元年 (1684)	石塔。正面に「三界万霊塔」、右に造立年月日、左に施主が記されている。				●		
	10 石鳥居(藤田神社)	昭和3年 (1928)	石鳥居。右柱の正面に「奉」、背面に「御大礼記念」の文字等、左柱の正面に「納」、背面に造立年月日等が記されている。				●		
	11 石灯笼(薬師寺)	貞享5年 (1688)	石灯笼。正面に「奉寄進御宝前」の文字と造立年月日・施主が記されている。石造五如来坐像に向かって右側。				●		
	12 石灯笼(薬師寺)	元禄7年 (1694)	石灯笼。正面に「奉寄進御宝前 石灯笼」の文字と造立年月・施主が記されている。石造五如来坐像に向かって左側。				●		
	13 石灯笼(藤田神社)	文政9年 (1826)	石灯笼。正面に「常夜灯」、右に造立年月日、左に願主が記されている。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りや信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

長 目

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	14	石灯籠（藤田神社）	大正4年 (1915)	左右一対の石灯籠。左右ともに正面に「献灯」、台石の正面に「氏子中」と彫られ、右灯籠の右に造立年月が記されている。				●		
	15	一陽亭花流碑（井奥芳松頌徳碑）	昭和9年 (1934)	石碑。正面に「一陽亭花流碑」と記されている。	●			●		
	16	板碑（薬師寺）	不明	自然石の石碑。種子（大きさ37cm×30cm）が記されている。				●		
	17	無縫塔（長目公民館庭）	宝暦3年 (1753)	石塔（墓塔）。正面に「塵外沙弥塔」、背面に造立年月日が記されている。				●		
	18	石室（薬師寺）	不明	かつての古墳の石室。				●	●	
	19	石棺底石（薬師寺）	不明	かつての古墳の石棺の底石。地藏菩薩立像の台座に利用されている。				●	●	
	20	葷酒石（長目公民館庭）	不明	葷酒（辛味や臭味のある野菜と酒）を食すことを禁じる石碑。正面に「不許葷酒入門内」と記されている。				●		
	21	百度石（藤田神社）	昭和12年 (1937)	百度石。正面に「百度石」、側面に造立年月日・施主が記されている。				●		
	22	墓碑（薬師寺墓地）	天和2年 (1682)	墓碑。正面に造立年月日と「妙法 老妣□妙慶霊位」などの文字が記されている。				●		
	23	十六世大□山大和尚墓碑	天保元年 (1830)	寺子屋師匠の墓碑。正面に「十六世大□山大和尚」と記されている。	●			●		
	24	当山中興大綱古范大和尚禅師墓碑	不明	寺子屋師匠の墓碑。正面に「当山中興大綱古范大和尚禅師」と記されている。	●			●		
	25	坂の森墓	明治34年 (1901)	力士の墓碑。正面に「坂の森墓」と記されている。				●		
	26	谷風碑	大正13年 (1924)	力士の墓碑。正面に「谷風碑」と記されている。				●		
	27	豊竹紙保墓	明治4年 (1871)	義太夫師匠の墓碑。正面に「豊竹紙保墓」と記されている。	●			●		
	28	豊竹梅茂墓	明治21年 (1888)	義太夫師匠の墓碑。正面に「豊竹梅茂墓」と記されている。	●			●		
	29	緑り松長太夫墓	明治34年 (1901)	義太夫師匠の墓碑。正面に「緑り松長太夫墓」と記されている。	●			●		
30	天真流清授軒一遊碑	大正4年 (1915)	華道師匠の墓碑。正面に「天真流 清授軒一遊碑」と記されている。	●			●			
31	天神流臥龍庵秀山碑	昭和9年 (1934)	華道師匠の墓碑。正面に梅鉢紋と「天神流 自然派 家元 臥龍庵秀山碑」の文字が記されている。	●			●			

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり								
				①	②	③	④	⑤	⑥			
建造物	石造物	32	養義民香居士碑	大正 8 年 (1919)	大工・俳諧師匠の墓碑。正面に「養義民香居士」と記されている。	●			●			
		33	鶴津梅茂碑	明治 44 年 (1911)	墓碑。正面には「鶴津梅茂碑」と記されている。	●			●			
美術工芸品	絵画	34	四字額（鳴鳳在樹） （藤田神社）	天保 9 年 (1838)	奉納者は「当邑永指氏大□」。78×53 cm。	●			●			
		35	曾我五郎丸図（藤田神社）	天保 10 年 (1839)	奉納者は「八反田村中」。117×154 cm。	●			●			
		36	浄瑠璃稽古揚額（藤田神社）	明治 31 年 (1898)	奉納者は「梅茂門弟中」。63×109 cm。	●			●			
		37	源頼光鬼童丸討取図（藤田神社）	明治 45 年 (1912)	奉納者は「奥平寛治」。105.5×151.5 cm。	●			●			
		38	天の岩戸図（藤田神社）	昭和 4 年 (1929)	奉納者は「子年男 42 歳 2 名」。105×151 cm。	●			●			
		39	日本兵鴨緑江渡江図（藤田神社）	不明	奉納者は「53 辰歳 □」。76.5×91 cm。	●			●			
		40	題材不明図（藤田神社）	不明	ほとんど剥落し、奉納者・題材は不明。175×182.5 cm。	●			●			
		41	十二支図（犬）（藤田神社）	不明	奉納者は「20 才男 戌年」。19.5×22.5 cmの小絵馬。	●			●			
		42	十二支図（猿）（藤田神社）	不明	奉納者は「申年男 22 才」。18×23 cmの小絵馬。	●			●			
		43	十二支図（馬）（藤田神社）	不明	奉納者は「24 才 男」。13×18 cmの小絵馬。	●			●			
		44	羽子板絵馬（藤田神社）	不明	奉納者は不明。計 11 枚。	●			●			
		45	破魔弓絵馬（藤田神社）	不明	奉納者は不明。計 4 枚。	●			●			
		彫刻	46	不動明王坐像	不明	長目区蔵。旧勅使寺に安置されていた不動明王。仏像の光背の裏には朱書きの墨書銘があり、姫路城主本多忠国が寄進したことがわかる。				●		●
			47	阿弥陀如来像	不明	旧薬師寺の阿弥陀如来像。				●		
			48	薬師如来像	不明	旧薬師寺の薬師如来像。				●		
49	木造阿弥陀如来立像		不明	長目公民館に安置されている阿弥陀如来の木製の像。				●				
古文書	50	教願寺文書	—	229 件、318 点。		●						
無形文化財	音楽等	51	播州石場つきの唄	—	建物の基礎の土を撞き固める仕事（石場つき）の掛け声拍子。 ※『かたりべ 第2集』34 頁		●					

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

長 目

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
有形の民俗文化財	祭具	52	屋台（長目区）	—				●		●
	その他の有形の民俗文化財	53	力石（長目公民館）	不明				●		
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	54	秋祭り（田原）	—	田原地区の屋台 12 台（布団屋根型 10 台、神輿屋根型 2 台）・神輿 1 台が熊野神社に集まる。本宮では、各屋台が鳥居をくぐった後に拝殿前で差し上げを行い、境内を回った後、拝殿の裏を回り定位置に据えられる。屋台の宮入りが終わると境内中央の舞台で浄舞、浦安の舞が奉納される。			●	●	●
		55	斉灯	—	1 月 27 日に藤田神社で行われる。				●	
		56	涅槃会	—	2 月 11 日に公民館で行われる。				●	
		57	花まつり	—	4 月 29 日に公民館で行われる。				●	
		58	湯立	—	7 月 16 日に藤田神社で行われる。				●	
		59	四萬六千	—	旧暦 7 月 10 日は観音の縁日であり、この日に参詣すれば 4 万 6 千日分の参詣と同じ利益を得られるといわれている。夕刻に公民館に村人が集まり、皆で経をあげた後、「わりまめごはん」と呼ばれる大豆を炒ったおこわが全員にふるまわれる。現在は公民館に集まった人にお菓子を配る。				●	
		60	七夕祭	—	8 月 6 日に公民館で行われていた。				●	
		61	盆祭り		8 月 12 日に子供広場で盆祭り（長目ゆかたまつり）が行われる。				●	
遺跡	散布地・集落跡・生産遺跡等	62	南田原長目遺跡	弥生時代	弥生時代の集落跡。市川東岸の段丘上の見晴らしの良い場所に溝を巡らせていたことから、地域間の争いがうかがえる。また、岡山県・香川県に多い分銅型土製品、岡山県倉敷市で作られた土器と同じ形の土器など、遠く離れた地域との関係を示すものが見つかっており、地域を代表する集落であったと考えられている。		●			

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	指定・選定等	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
遺跡	散布地・集落跡・生産遺跡等	63	勅使寺経塚	—		●		●		●
	その他の遺跡	64	薬師寺跡	—				●		
その他	信仰の場	65	教願寺	天文 22 年 (1553) 開基				●		●
		66	藤田神社	—				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

長 目

歴史文化遺産の保存・活用の取組等

- ・地域づくり委員会（村役員、老人会・婦人会・消防団・青年団などの各団体の長、女性委員、民生委員、体育普及委員などの各種委員、計 29 名）を構成し、自立（律）のまちづくり交付金事業を活用して、長目ゆかたまつり（夏祭り、盆踊り等）の開催や里山の整備などの取組を実施しています。
- ・長目秋祭り保存会を組織し、熊野神社秋季例大祭を通じて区及び区民の活性化を図るため、子どもへの祭り継承事業などを実施しています。



長目ゆかたまつり（盆踊り）



長目ゆかたまつり



里山の整備



伐採した竹を使った竹とんぼ・水鉄砲づくり